

Message

第 22 号

2017. 7. 21

=メッセージ=

島根県立島根中央高等学校
島根中央高等学校PTA広報委員会

進め島根中央高校



島根中央高
校は、この春
で開校から丸
十年が過ぎ、
この秋には開
校十周年の記念式典が行われま
す。

十一期生となる今年、地元をはじめ県内外から七十九名が入学し、在校生の出身中学校は、遂に百校を超えました。その生徒たちが見事になじみ、今の島根中央高校の雰囲気醸し出しています。

生徒たちの様子を見ると、部活動などに一生懸命取り組み、落ち着いた生活を送ってくれているなど感じています。朝夕元気なあいさつを交わす姿、まちごとキャンパス学習など校外学習時の元気な様子などを見て、高校生の元気は、地域の活力になっていると実感します。

ところで、生徒たちも登下校などで利用しているJR三江線が、残念ながら来年春には廃線となることが決まっています。現在の三江線のダイヤは生徒たちにとって利用しやすいものではなく、そのためにスクールバスが運行されている実態はありますが、三江線は中央高校の前身である川本高校・邑智高校時代を含め、象徴的な存在であるだけに、大変寂しい思いがあります。

島根中央高等学校PTA会長

左田野 晃

川本高校の大先輩の話によると、体育祭を、三江線の「上り」と「下り」、「バス通・寮・下宿生」、「地元生」のように組み分けて行った時代もあったそうで、古き良き時代だったのだと思います。私の高校時代も朝夕は駅前の人々があふれ、賑やかな光景が繰り広げられていました。

現在、三江線廃止後の代替交通の議論が行われていますが、少なくなつたとはいえ、利用の中心となる高校生の通学に支障が無いようにと議論をいただいているようで、在校生はもちろん、これから入学してくる子どもたちが、安心して高校生活を送ることが出来るよう願っております。

三江線沿線の市町は、三江線廃止後も元気な街が残るよう頑張ろうとしています。島根中央高校も三江線がなくなっても、ますます活力あふれる、魅力的な高校であり続けるよう、みんなで力を合わせていきましよう。

二期期には学園祭が待つており、生徒たちの元気ではつらつとした様子を見ることができ、のを楽しみにしています。そこに集まってこられる保護者の皆さんの顔が見えるのも心待ちにしています。保護者の皆さんのイベントへの協力も、お待ちしております。

島根中央高校これまでの十年とこれからの姿



この四月に
島根中央高校
に赴任しまし
た。学校のす
ぐそばの教員

住宅で二十五年ぶりの单身生活を始めて三ヶ月が経過しましたが、今年はずっと晴れた日が多く、豊かな自然の中で気持ちよく日々の生活を送ることができ、ありがたいと感じている毎日です。

学校の方も、四月に七十九名の新入生を迎えて新学年がスタートし、日々の授業のほか、遠足・中間試験・卓総体・一年生の三瓶研修・球技大会・期末試験と様々な行事に取り組みながら、学校としてのまとまりを少しずつ作り上げているところです。

五月には全校生徒を対象に学校生活に関するアンケート調査を行いました。例年この時期に行われ、学校生活についての満足度をはじめとして、人間関係などでの心配事の有無や人権同和教育に関する質問など、幅広く生徒の状況を把握することが目的でした。

その質問の中で、「入学してよかった」と思っている生徒の割合が学校全体の八十七%に達していることがわかりました。過去の結果を確認してみても、この数値は少なくともこの五年間ほぼ同じレベルで推移しています。この結果から、多くの生徒が

島根中央高等学校校長

木原 和典

本校での生活に満足を感じていることが推測され、素直にうれしいと思います。私自身も校内で生徒たちのいきいきとした姿を目にしているのですが、おそらくこうした様子が反映された数字なのだろうと感じています。このように生徒たちが充実した学校生活を送ることができているのは、この一年や二年の成果ではなく、これまでの歴史の中で教員・保護者・地域の皆さんが協力しながら生徒たちを守り、支えてくださった結果であると感謝しています。

島根中央高校も設立から十年が経過しました。少子高齢化の急速な進行など変化の激しい近年の流れの中で、地域に支えられてきたこの十年のあゆみを経て、次第に本校のあるべき姿が浮き彫りになってきていると感じています。まだまだ学校として取り組むべき課題も抱えています。これまで地域の皆さんとの連携により培われてきた成果を柱にしていけば、島根中央高校をさらによい学校にしていきたい。これからのことを考えています。これからも保護者の皆さんと協力しながら取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。



PTA総会開催

平成二十九年 五月十三日(土)

五月十三日(土)平成二十九年PTA総会を開催しました。学校状況説明、平成二十八年度事業報告、決算報告、監査報告、平成二十九年事業計画(案)、予算(案)が審議され、原案どお



り承認されました。また緊急情報伝達システムをこれまでの「eメッセージ」から、近隣の小中学校でも利用の多い「マチコミメール」に変更する提案が承認されました。



平成29年度PTA新役員

会長	左田野 晃
副会長	佐藤 美
監事	坂根 尚
	大屋 裕
	木原 和
	上坂 信
	竹内 一
	中内 郎



祝 福井義信前PTA会長が島根県高等学校PTA連合会表彰を受賞されました。



委員会構成メンバー

●生活指導委員会			
委員長	菅原真吾	副委員長	横宮隆幸
担当副委員長	坂根尚	担当監事	上坂学
評議員	木村孝司		伊藤密則
学校担当者	小中洋子		本田晴之
●研修委員会			
委員長	高木己希雄	副委員長	林朋宏
担当副委員長	大屋裕二	担当監事	竹内信一
評議員	飯塚智		榎三千代
学校担当者	奥野晴之		飯塚智
●広報委員会			
委員長	大谷美希	副委員長	中嶋美砂
担当副委員長	佐藤龍美	担当監事	中西一郎
評議員	岡田友枝		大橋春美
学校担当者	黒上卓二		屋野忠司

教育講演会

岩本 悠氏 (島根県教育魅力化特命官)

今年度は新しい試みとして、PTAと共催で教育講演会を開催しました。講師には島根県教育魅力化特命官の岩本悠氏をお迎えし、「地域を愛し、夢をかなえる若人の育成に向けて」というテーマで講演していただきました。

岩本氏は、島根県との関わりをお話しいただく中で、学生時代に思い切った日本を飛び出して海外で体験したことが、その後の自分の生き方を大きく変えたこととそれを応援してくださいとお父様のことをお話し下さいました。今、島根県は、少子高齢化に直面する日本のモデルケースとして全国から注目を集めています。そのような状況の中で、おとなしい県民性ではあるけれども、子ども自身が失敗を恐れず何事にも思い切った挑戦する、またその挑戦を応援する保護者の姿勢が強く求められている事を熱く語ってくださいました。



島根中央高校への思い

今年度も県外・邑智郡外から入学していただいた生徒・保護者の方に寄稿をいただきました。

「島根中央高校へ感謝」

二年二組 越野真帆さん 母 (浜田市 浜田三中出身)

「お母さん、島根中央に行きたい！」中三の進路説明会の日、娘は私にこう言いました。学校説明の内容にとっても興味を持った様子で、学校が楽しそう、部活も続けられるからと。これが島根中央高校との出会いでした。それまで地元の学校へ行くと思っていた私は驚きました。自分から物事を決めるタイプではない娘の発言に頼もしさを感じ、応援することにしました。

そして、念願叶い入学することができ、寮生活にもそれほど抵抗なく慣れていった様子です。部活でケガをしてしまった日も家ではなく、寮に帰るくらいで先輩や友達に恵まれていたので先ずか感じました。寮に入

て一番成長を感じるのは、生活面での自立が多くなったことです。

また、ケガがきっかけとなり将来の夢が見つかった事も学校生活を充実させている事の一つだと思えます。今はその夢に向かって残りの高校生活を更に充実させて欲しいと思っています。

今日はサルがいた！雪が積もったよ！など届く写真をみながら毎日楽しく過ごせていると思うとこちらの学校に行かせて本当に良かったと感じています。最後にお世話になっている先生方、温かく見守って下さる地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

〈越野真帆さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由は何ですか？

中学の時、進路説明会で島根中央高校の説明を聞いて、学校の雰囲気や良く楽しくてそう



など思ったのと、制服がブレザーでかわいいなと思ったからです。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返ってみてどうでしたか？

最初は勉強も部活も大変で、どうしようって悩んでいる時期もあったけど、優しい先輩や友達が助けてくれたおかげで、いまでは楽しく充実した学校生活を送っています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか？

自分で考えて行動できるようになったと思います。

Q 家族に向けて一言！

親元を離れて家族の大切さに気づくことができました。本当にいつもありがとうございます。

「今思う」

一年一組 浦 早秀くん 父 (大阪府 寝屋川五中出身)

早いもので息子が巣立ってから三ヶ月が経ちましたが、最初は十五才の頼りない息子が親元を離れて生活出来るのか不安で心配ばかりしていました。しかし、そんな不安を一掃してくれたのがゴールデンウイークに帰省した時、私の「学校どうや？」に対する息子の返答でした。「学校めっちゃ楽しいで!!」この言葉と息子の表情を見た時、島根中央高校に入学して良かったと実感しました。

我が家が島根中央高校を選んだ理由は、息子がシニアチームに所属していたので甲子園出場を目指して同時に勉強にも力を入れていた高校を探していたところしなね留学の記事を目にしました。甲子園出場経験豊富な監督や充実した設備に興味を持ち七月のオープンスクールに参加させて頂いた時には、息子の意志はすでに固まっていたようでした。

そして何と言っても「まち親制度」をはじめ川本町役場の

方々や後援会、さらには川本町の地域のみなさんが県外生を快く受け入れて下さっている姿がとても印象的で、心から感謝しています。

これからの島根中央高校での生活においていろんな人とのいろんな角度からいろんな経験をして、成長して将来に役立ててほしいと思います。そして、甲子園に出場出来れば最高です。

〈浦 早秀くんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由は何ですか？

知り合いや親にすすめられたからです。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返ってみてどうでしたか？

学校生活は友達もたくさんでき、先生も優しく、だんだん慣れてきました。寮生活は、入寮当時は何も

きなかったけど、先輩の皆さんも優しく、今はとても充実した日々を送っています。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか?

今までは親に頼ってばかりだったけど、学校生活や寮生活を通して、少し自立したと思う。

Q 家族に向けて一言!

こつちでの生活はだんだん慣れてきました。いろいろ心配もあると思いますが、お互いがんばりましょう!!

「そつと背中を押して」

一年二組 川元史織さん 母 (兵庫県 小園中出身)

小学校から中学校へ進み、娘の成績は急落下。担任の先生からは、授業はまじめだけど挙手もなく、発言もほとんどない、と言われ本人もわからない所を先生に聞けない、と私に言ってきました。その時二百人、三百人いる学年の多人数の学校

よりも娘には、少人数でのんびりできる環境の方があつていいと思う、二ユースの特集でやっていて「しまね留学」に目にとまり、私の実家の近くで(私は島根出身)しまね留学を受け入れている高校をネットで探して島根中央高校にたどりつきました。

その日からホームページ、動画を何回も見て、頭の中では入りたいと思う娘ですが、地元の方達と遠く離れること、家を出て寮に入らなければならぬことにたぶんブランコの様に心が揺れていたと思います。でも、個人で学校見学させていただき、吹奏楽の練習にも参加させてもらった帰りの車の中で、「私、この学校に入りたい。ここで吹奏楽をやりたい。」

娘がここまで主張してきたのは、初めての様な気がしますが、あまり賛成はしてなかった主人もこの言葉に送り出すことを決めたみたいです。(その前に、生徒の挨拶と吹奏楽の合唱に感激してたとか...) 入学してから三ヶ月弱。標準語&石見弁がなんかムズムズすると言っていたのに、この前のメールを石見弁で返信して

〈橋本春彦さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由は何ですか?

自分が今まで気づかない内に甘えていた家族達と別れて自立できるから。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返ってみてどうでしたか?

学校生活はとても充実していると思います。寮生活はとても良い手本となる先輩方がいてとても勉強になります。

Q 入学して自分が変わった(成長した)と思うことは何ですか?

とても自分が変わったと感じるのは勉強についてです。中学校の時とレベルとスピードが上がるのを感じ授業がとても大切だとやっと気付けたことです。

Q 家族に向けて一言!

今までありがとう。そしてこれからよろしく。

きた時には、ああ石見弁が出る位、友達と会話をし、楽しい日々を過ごしているのだからと親として涙が出る位うれしかったです。

最後になりましたが、先生方、関係者の方、川本町の皆様、娘の三年間という、人生の中では短いかもしれませんが、とても濃く重要な日々を江の川のように大きく、穏やかに見守っていたただけは幸いです。

〈川元史織さんに聞きました〉



Q 島根中央高校を選んだ理由は何ですか?

二年生からコースが決められるというところに魅力を感じ、将来の夢に近づけるコースがあつたのと、吹奏楽部が全国大会に行かれていてと聞いて、私も全国大会に行ってみたいと思ひ、島根中央にしました。

Q 入学してからこれまで(学校生活、寮生活)を振り返って

平成29年度

部活動結果

(全国大会・中国大会)

■カヌー部

【カヌースプリントジュニア 海外派遣選手選考会】

女子カヤックシングル500m

準決勝進出

菅原いおり

男子カヤックシングル1000m

準決勝進出

中西諒磨

【中国高等学校カヌースプリント選手権大会】

男子カヤックシングル500m

中西諒磨 3位

洪田篤志 5位

男子カヤックペア500m

洪田・瀬上組 2位



「自立への思い」

一年三組 橋本春彦くん 母 (東京都 栗島中出身)

入学のきっかけは、都立高校、私立高校の説明会への参加でした。

なんで東京に島根県の高校が来ているの?と島根県立二校のポスターが目にとまりました。「説明を聞きませんか」と川本町役場の伊藤さんに声をかけられ、聞くだけなら、気軽に紹介ビデオを観ると川本町の自然溢れる環境の中で、カヌー部の頑張っている姿が印象的で、町全体で子ども達を育てていく教育理念に心が惹かれ、息子に合っているかもと直感しました。

帰宅後息子に話をし、渋谷での説明会、十月のオープンスクールへの参加を通して、「島根中央高校に入学し、地域の方々との関わりやボランティア、学生生活を頑張りたい」との息子の思いから受験を決めました。ですが、東京から川本町までの距離は86.3km。見学の際、車で息子と行きましたが、兎に角遠く、何かあつてもすぐに行

■陸上部

【中国高校陸上選手権】

八種競技

上田理央 11位

女子やり投 (4546点)

市原愛美(29m86)



(県高校総体)

■カヌー部

男子カヤックシングル500m

1位 中西諒磨

女子カヤックシングル500m

1位 菅原いおり

男子カヤックペア500m

1位 洪田・瀬上

1位 中西・洪田

津山・蛸島

★中西・洪田・瀬上・蛸島・津山・宮部・菅原の7人は

8月に山形県で行われる全国高校総体に出場します。

■陸上部
八種競技

上田 理央 2位

(4300点)

女子やり投

市原 愛美 6位

(3030)

■ソフトテニス部

男子団体

島根中央0-3 津和野

女子団体

島根中央0-3 松江南



■バスケットボール部

男子

島根中央57-100 明誠



■バレーボール部

島根中央0-2 平田



■剣道部

(団体戦)

島根中央4-1 松江工業

島根中央0-3 情報科学

(個人戦)

竹内飛燕 3回戦進出



(その他の大会・活動)

【石見地区高等学校野球大会】

(決勝)

島根中央7-10 浜田

【高文連石見地区高校美術講習会】

美術部7名が参加

【みさと町民文化祭】

しまんChu♡が参加



【高文連春季写真コンクール】

特選(県高校写真展に出品)

森口絵莉・小林香織

牧野葵乃・石田愛香

高橋妃香利・石井美羽

↑特選 森口絵莉

「獅子舞だって空を見る!!」

8月19日(土)

PTA奉仕活動

(校内除草活動)

9月1日(金)~3日(日)

学園祭

(PTAバザーは2日(土))

編集後記

今回、お忙しいところ寄稿してくださった皆様、本当にありがとうございました。

昨年より2回から3回に発行回数を増やしました。より多くのPTA活動の様子をMessageを通してお届けできるように工夫していきたいと思っておりますので今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

連日猛暑が続いています。熱中症にならないよう体調管理をして、この夏を乗り切りましょう。

(PTA広報委員会)

